

アース・セレブレーション2008

EC+Oプロジェクト

構成●洲崎純子 写真●佐藤正治 イラスト●真砂秀朗



今、佐渡では資源循環型のエコアイランドを目指し、レジ袋ゼロ運動や廃油・木質バイオマスのリサイクル、不法投棄防止や環境美化運動など、生活環境に関わる様々な取り組みが進められています。また9月25日には野生復帰のために、トキ10羽がいよいよ試験放鳥されることになりました。

佐渡島内では年間を通じて数多くのイベントが開催されますが、その賑わいの一方で、飲食等に伴う廃棄物の減量も課題となっています。ECは今年から佐渡市が取り組む「イベントごみ減量大作戦」のモデルイベントのひとつとして、「EC+Oプロジェクト」として佐渡島内外を問わず様々な団体と連携し、これまで以上に「ごみの減量と回収資源のリサイクル、リユースに取り組んでいくことになりました。」

環境と人間をアートが結ぶ

今から22年程前、アース・セレブレーションのタイトルを考えていたときのことです。「地球文化と地球環境」という視点から、「EARTH」というキーワードが浮かんできました。そして、そのような大きなテーマに私たちがどのような形で関わる事ができるか話していた時に、当時の鼓童代表、故河内敏夫(愛称…ハンチョウ)が「EARTH」という文字の中には、「ART」(アート)という文字が隠されていて、両側にある「E=Environment」(環境)と「H=Humans」(人間)という文字を結んでいる「ことを発見しました。これは偶然のことかもしれないませんが、このお祭りを単なる野外での音楽フェスティバルにとどめること無く、自然と共生する様々な知恵や技術を持つ人たちの共同作業の中から、新たな地球文化と地球環境の問題を考えていきたいと思っていた私たちには、その語呂遊びが腑に落ちたのです。

ECは21回目の新たな歩を踏み出すことになるのですが、このフェスティバルの頭文字である、「E=Environment」(環境)の意味について、原点に還って考えてみたいと思っています。私たちの演じている芸能の由来は、恵みをもたらしてくれる自然に対する感謝と畏敬の念から生まれたものがほとんどです。それは、豊かな自然があったからこそ、存在するものと言っても良いのではないのでしょうか。現在、地球上で様々な環境変化が顕在化の中で、自然と人間を繋いできた知恵や技術が失われようとしています。このことは、古来より伝えられてきた、唄や踊りが消えていくことにも繋がるのではないのでしょうか。皆さんと一緒に、EARTH CELEBRATIONの名前に込められた想いをあらためて噛み締めて、祭りの準備を始めたいと思います。

(EC総合プロデューサー 菅野敦司)

● E C 2 0 0 7 ごみ減量の成果

例年、ハーバーマーケットと城山コンサート会場を中心に、島内外の各団体や沢山の方々のご協力をいただき資源ごみの回収を進めています。2006年から、E C に出席する飲食店にリサイクル容器「リ・リパック」使用の協力をお願いしています。昨年のE C で回収した資源ゴミのうち、「生ゴミ」「リサイクル容器」「割り箸」は佐渡のN P O 法人「エコひびき佐渡」の皆さんが中心となって独自に堆肥化したり、リサイクル処理施設等へ持ち込み、左記のゴミ減量を実現しました。

生ゴミ／216 kg (島内で堆肥化)

リサイクル容器／51・6 kg (容器再生)

割り箸／17・1 kg (再生紙へ)

協力：N P O 法人「エコひびき佐渡」

アースガーデン

<http://www.earth-garden.jp/>

BEE (Bicycle for Everyone's Earth)

<http://www.beejapan.org/ja/>

● 古いお米をごみ袋に

米どころ新潟発。食用に適さなくなつた古いお米(資源米)を原料にしたバイオマスプラスチックで作られたごみ袋を導入することになりました。佐渡の対岸にある上越市の企業が世界で初めて開発した製品です。石油由来のごみ袋に比べ、約30%のCO₂削減効果があります。協力：アグリフューチャー・じょうえつ <http://www.afj.jp/>

● ごみが減量できて、なおかつビールが美味しくなる！

「ステンレス製マイカップ」を販売

新潟県燕商工会議所がビジネスサポートしている地域ブランド「磨き屋シンジケート」が開発した「ビアタンブラー」を販売します。(価格…1500円500ml) クリーミーな泡でビール本来の味を楽しむことができ、自宅でも味わえます。

協力：燕商工会議所「磨き屋シンジケート」

<http://www.nigaki.com/>

● 「デポジット式リユースカップ」で

使い捨てカップを減らそう

使い捨てカップを減らすために、洗浄して再使用するポリプロピレン製のリユースカップを100円でデポジット(預かり金)で貸し出します。使用後にカップを返却すれば、100円が返金されます。

協力：t o o 倶楽部

<http://ameblo.jp/te2te/>

※「ステンレス製マイカップ」「デポジット式リユースカップ」は、いずれもハーバーマーケット内の飲食店でのみ使用できます。

● 素浜クリーンアップ作戦

近年、日本各地の海岸で深刻化している海洋漂着ゴミ。E C のキャンプ場として利用いただいている素浜海岸キャンプ場をはじめとした佐渡沿岸も例外ではありません。今年は、自転車で日本を縦断しながらボランティア活動を行っている

B E E の皆さんの呼びかけて、期間中の8月23日(土)朝7時より、素浜海岸の一斉清掃を行います。

● 二酸化炭素吸収「カーボン・オフセット」

昨年、E C (城山コンサート、ハーバーマーケット)では約2051K W H の電力が消費され、二酸化炭素排出量に換算すると1403 kg CO₂という数字になりました。このような電気使用やゴミ処理により排出された二酸化炭素などの温室効果ガスを吸収するために、佐渡島の森林間伐などを進めて木々の成長を促すための費用を負担する「新潟県版カーボン・オフセット事業」に参加しています。この費用は主に、トキの放鳥エリアでもある佐渡・新穂地区の森林整備にあてられています。

＋O という次の一歩

十文字修 (E C + O プロジェクト)

今年2008年は、京都議定書の約束が試される最初の年です。また佐渡にとつては国際保護鳥トキの野生復帰元年でもあります。そうした時代、場所にあつてアース・セレブレーションが、ぜひいただきたい道筋があります。それは「もっとエコであること」。そのビジョンを提示すること。このイベントには、そうした心楽しい使命があるのだと思わずにはいられません。

アース・セレブレーション、略称「E C 」。O を添えれば即ち「E C + O 」。O とは循環の「環」。それとも浪費から手をひくO F F の「O」…。あなたはE C に何が加われば、E C O になると思いませんか？ 私たちみんなの思いを集め、地球の祝祭の新たな意味をE C から佐渡へ、日本へ、世界へ。

十文字修 N P O 法人「循環の島研究室」代表。神奈川県で里山や川を活かしたまちづくりの事業に参画。
'02年より佐渡・金井に定住。

★ハーバーマーケット内「E C + O テン」をお訪ねください。マイカップ販売、デポジット式リユースカップ貸し出しのほか、太陽光エネルギーを利用した電動アシスト自転車貸し出しなどを行っています。

